

大羽イワシ流網漁業試験

担当者 漁業課長 田名部 政 春
瑞鷗丸船長 橋 本 留 蔵

I 目 的

前年と同じ

II 調 査 方 法

1. 試 験 船 瑞鷗丸 30.42トン H90HP
2. 乗 組 員 船長以下 9名
3. 調査期間 昭和39年4月22日～5月21日
4. 調査海域 大間越～饒ヶ沢沖
5. 漁 具 大羽イワシ流網 15反

III 調 査 経 過

本年度大羽イワシ流網漁業試験は4月22日より準備に入り、4月24日大間越北西9連の海区に初投網を行なった。以後5月21日まで大戸瀬崎間1回計7回の試験操業を行なったが、前年同様全く不振に終った。

IV 調 査 結 果

本調査期間中の延使用反数は105反で、漁獲は大羽イワシ2尾、カタクチイワシ5尾、小鯖6尾、スルメイカ1尾の漁に終った。本年度は漁期前より西海岸一帯の沿岸定置網に例年になく大羽イワシの入網が見られ、30～40尾とまとまった漁獲も見られたので産卵接岸群の捕捉に努めたが、魚探による反応もなく、全くの不振に終った。一方、太平洋八戸近海では大羽イワシの来游が急増し、6月～8月にかけて極つた群の来游がみられ、漁期中延942隻で449.5トンの水揚げで、15年振りに流網の操業がみられた。魚体は20～24cmの範囲で、モードは22cm、2～3年魚が主体となつている。

月 日		4月24日	4月28日	4月30日	5月13日	5月14日	5月17日
魚場	位 置	大間越 NW 9'	瀬作崎 SW 14'	鰺ヶ沢 N 6'	松神沖 W 5'	島本沖 NW 4'	鰺ヶ沢 N/W 5'
観 測 時		17.20	17.00	18.10	16.50	16.50	17.25
気 象	天候, 雲量	B	B	C・B	B	B	B・C
	風向, 風力	NNE 3	W 2	E 3	E 1	E 2	0
	気 圧	6.4					
	気 温	6.4	11.2	9.4	15.2	17.2	18.6
海 況	水	0m	10.1	10.4	10.8	14.0	15.6
		10m	9.90	10.00	9.65	13.30	13.00
		20m	9.80	9.80	9.65	11.30	11.85
		30m	9.65	9.65	9.30	11.25	11.25
	温	50m	9.20	9.25		10.70	9.55
		75m	8.95			9.10	
	水 深	90m	50m	44m	78m	90m	
	潮流速度	SSW 1/2	N 0.7'	ESE 1/4	N 1/4	NNE 1/4	SS 1/4
	水色, 透明度	4. 9	3. 13	4. 8	4. 10	3. 13	3. 12
	波浪 ウネリ	2. 2	1. 2	2. 1	0. 1	1. 1	0. 1
魚 具	投 網 時	17時40分	17時15分	17時45分	16時55分	17時30分	17時10分
	揚 網 時	22時15分	22時05分	21時00分	21時30分	22時20分	21時40分
	投網方向	SSE	E	W	SE	W	SW
	使用反数	15反	15反	15反	15反	15反	15反
漁 獲	体 重	— 小サバ5尾					
	数 量	大サバ1尾 カタクチ1尾	大サバ1尾 カタクチ1尾	皆 無	〃	大サバ1尾	カタクチ1尾 小 サバ1尾
備 考		瀬縄 10 尋	〃 7 尋		瀬縄 5 尋		